

〔ふるさと自立計画〕

梁瀬地域まちづくり計画

(2019年改訂版)

歴史と文化が香る 緑風の郷 やなせ

～ 住みやすく安心して暮らせるまちを目指して ～

平成 31 年 3 月

(2019 年 3 月)

梁瀬地域自治協議会

梁瀬地域まちづくり計画の改定にあたって

月日が流れるのは早いもので、初版の梁瀬地域まちづくり計画を作成してから8年が経過しようとしています。この度、8年という時間経過に伴う、社会情勢、地域課題などの変化などを反映し、より梁瀬地域が持続可能なまちとなるように梁瀬地域まちづくり計画の見直しを行いました。

特に、初版を作成したときに比べて地域課題も変化しており、具体的には、当初の課題がより深刻化し、当初には思い当たりもしなかったような課題が見えてきていると感じています。また、残念なことに、少子化や高齢化による地域の担い手不足も相まって、地域を盛り上げようという勢いも失われつつあります。

しかしながら、梁瀬地域自治協議会の設立時の初心に立ち返り、地域の現状に即した方法で、「子供から高齢者まで誰もが自ら考え、自ら行動することによってふるさと梁瀬の歴史と文化を継承し、すべての地域住民が生き生きと活気にあふれた地域づくりを推進する」ために、再び地域全員アンケートを行い、さらに対話を重ねることで梁瀬地域の未来を描き直すことができました。

この一連の取り組みの中で再び、梁瀬地域ひいては朝来市のことを地域住民で考え、梁瀬地域自治協議会の存在意義を問い直すことができたことを喜ばしく思うのと同時に、日ごろから梁瀬地域に関わったおられる皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

平成31年3月
(2019年3月)

梁瀬地域自治協議会
会長 的場 文夫

歴史と文化が香る 緑風の郷 やなせ

～ 住みやすく安心して暮らせるまちを目指して ～



朝来市では今、「自考・自行、共助・共創のまちづくり」のスローガンのもと、地域住民と行政がそれぞれの役割と機能を分担するシステムを推進するため、市内各小学校区に地域自治協議会の設立を図ってきました。

私たちの住む梁瀬地域は、郷土の発展を願う先人達の英知とたゆまぬ努力によって今日のようなまちづくりが進められてきました。また、分権型社会や少子高齢化の到来により地域社会が大きく変化する中で、子供から高齢者まで誰もが自ら考え、自ら行動することによってふるさと梁瀬の歴史と文化を継承し、すべての地域住民が生き生きと活気にあふれた地域づくりを推進する目的で、「梁瀬地域自治協議会」を設立してきました。

このたび朝来市が、向こう 10 年間の目標や活性化に向けての仕組みや過程を示した「第 1 次朝来市総合計画」を制定したことを受けて、梁瀬地域自治協議会としての進むべき方向性を示す「まちづくり計画」を策定することにしました。

この計画の策定にあたっては、梁瀬地域の多くの皆さんの夢や希望を反映すべく、平成 22 年 2 月に「住民アンケート」を実施させていただきました。このたび、その集計結果を反映した「まちづくり計画」としてまとめ、地域の皆様にお示しするところとなりました。梁瀬地域の将来にわたる基本方針としてまちづくりの指針となることを期待しています。

この計画の策定にあたって多くの住民の皆様、関係者の皆様のご協力をいただきましたことに、心からの感謝とお礼を申し上げ、ご挨拶といたします。

平成 22 年 3 月

梁瀬地域自治協議会

会長 的場 文夫

目次

序章 地域まちづくり計画について.....	3
1. 地域まちづくり計画の位置づけ	3
1) 地域まちづくり計画とは.....	3
2) 梁瀬地域まちづくり計画の役割.....	3
2. 計画の対象と構成等	4
1) 計画の対象.....	4
2) 目標年次と取組み.....	4
3) 取組みの重要度	4
4) 取組みの役割分担.....	4
5) 計画の構成.....	5
第1章 梁瀬地域の現況と課題.....	9
1. 梁瀬地域の現況	9
1) 梁瀬地域の概要	9
2) 梁瀬地域の歴史・文化と地域資源	11
3) 梁瀬地域の人口の構成と推移.....	12
3. 地域住民のまちづくりに対する意向	15
1) 梁瀬地域まちづくりアンケート調査.....	15
4. 朝来市総合計画	27
5. まちづくりの主要課題	29
1) 少子・高齢化社会への対応	29
2) 安全・安心な地域の創出.....	29
3) 健康・福祉環境の充実	29
4) 地域産業の活性化.....	29
5) 地域間・地域内交流の促進	30
6) 地域づくりに対する地域住民の関心と参加意欲の向上.....	30
7) 地域活動・産業の担い手の発掘	30
8) 持続可能なまちづくりの仕組み構築.....	30
第2章 梁瀬地域が目指す将来像	33
1. まちづくりのテーマと基本方針	33
1) まちづくりのテーマ	33
2) まちづくりの基本方針	34
第3章 これから進める主な施策	37
1. 各分野別の主な施策	37
1) 生活安全分野	37
2) 健康福祉分野	39
3) 産業振興分野	40
4) 地域交流分野	41
第4章 まちづくりの推進に向けて.....	45

目 次

1. 役割分担と地域協働	45
2. 計画の見直しについて	46
参考資料 梁瀬地域まちづくり計画策定の経過①	51
参考資料 梁瀬地域まちづくり計画策定の経過②	52

序章 地域まちづくり計画について

序章 地域まちづくり計画について

1. 地域まちづくり計画の位置づけ

1) 地域まちづくり計画とは

朝来市では、現在、第2次総合計画後期基本計画を策定しています。これは朝来市の目標、活性化の仕組みや過程を表す、まちづくり指針としての役割を果たすもので、朝来市におけるまちづくりの最上位に位置するものです。

第1次梁瀬地域まちづくり計画作成においては、朝来市の第1次総合計画に則っていましたが、この第2次梁瀬地域まちづくり計画においては、朝来市の第2次総合計画に則って作成します。この計画の作成においては、『創造』、『絆力』、『自律』の三つをキーワードにした「元気で、いきいきとした市民の暮らしの場を創造し、市民が絆でつながり合って、自律した生活意識を高めていく」を基本理念に、これまでに引き続いて住民と行政がそれぞれの役割と機能を分担する地域協働・地域自治のシステムを継続し、住民が主体となった分権時代にふさわしいまちづくりに取り組んでいくことを明記しています。

地域においては、それぞれの地域の将来の姿を描き、それを実現するために、誰が、何を、いつまでに、どんな資源を使って、実践したらいいのか、をまとめたものが「地域まちづくり計画」です。

2) 梁瀬地域まちづくり計画の役割

梁瀬地域まちづくり計画は、地域のまちづくりの指針となる計画であり、以下のような役割を持っています。

◆地域での活動・事業における役割・関係を明確にする

地域には、様々な活動・事業（安全防犯活動、福祉活動、環境保全活動、文化の伝承、地域の活力づくり等々）があります。それらの役割・関係などの位置づけをはっきりさせておくと、どこに重点を置いたらいいのか、新たに取り組むべきものが何か、などが分かりやすく見えてきます。

◆地域での活動の効率化が図れる

様々な活動が、協力・連携しやすくなり、活動を統合するなど効率的な活動を進めていくことができます。

◆地域に必要な公共サービスの優先順位がわかる

地域に必要な公共サービスを明らかにして、体系化することにより、サービスの優先順位がわかりやすくなります。まず、どこに絞って活動したらいいのかが見えてきます。

◆地域まちづくり計画をつくることが大切な経験（資産）となる

地域まちづくり計画をつくるプロセスが一番重要で、地域の大勢の人々が一緒になって議論、検討を重ねていくことが、大切な経験（資産）として積み重ねられていきます。

2. 計画の対象と構成等

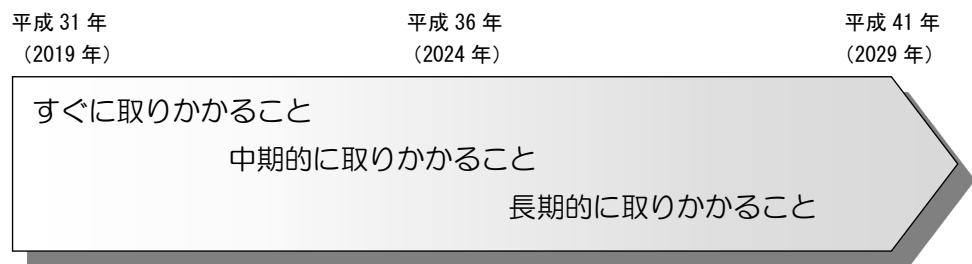
1) 計画の対象

梁瀬地域まちづくり計画の対象範囲は、梁瀬地域（梁瀬地域自治協議会）を範囲とします。

2) 目標年次と取組み

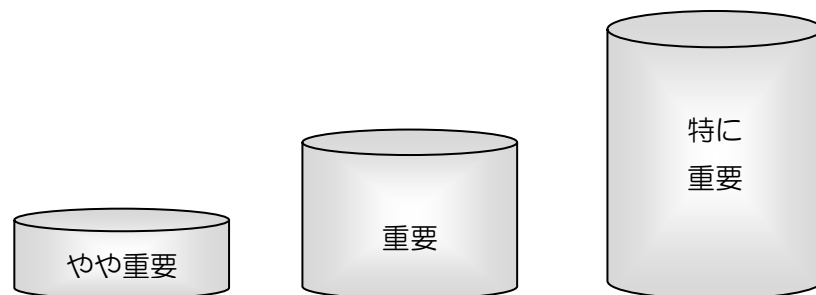
梁瀬地域まちづくり計画は、長期的な地域のまちづくりの基本方針や今後の取組み施策を示すものであり、概ね10年後の地域のあるべき姿を描くことを目標とします。

10年後の地域の将来像を実現するために、これから行っていく取組みとして、すぐに取りかかること（～2年以内）、中期的に取りかかること（2～3年）、長期的に取りかかること（4～5年又はそれ以降）に区分し、いつまでにやっていくのかを明確にします。



3) 取組みの重要度

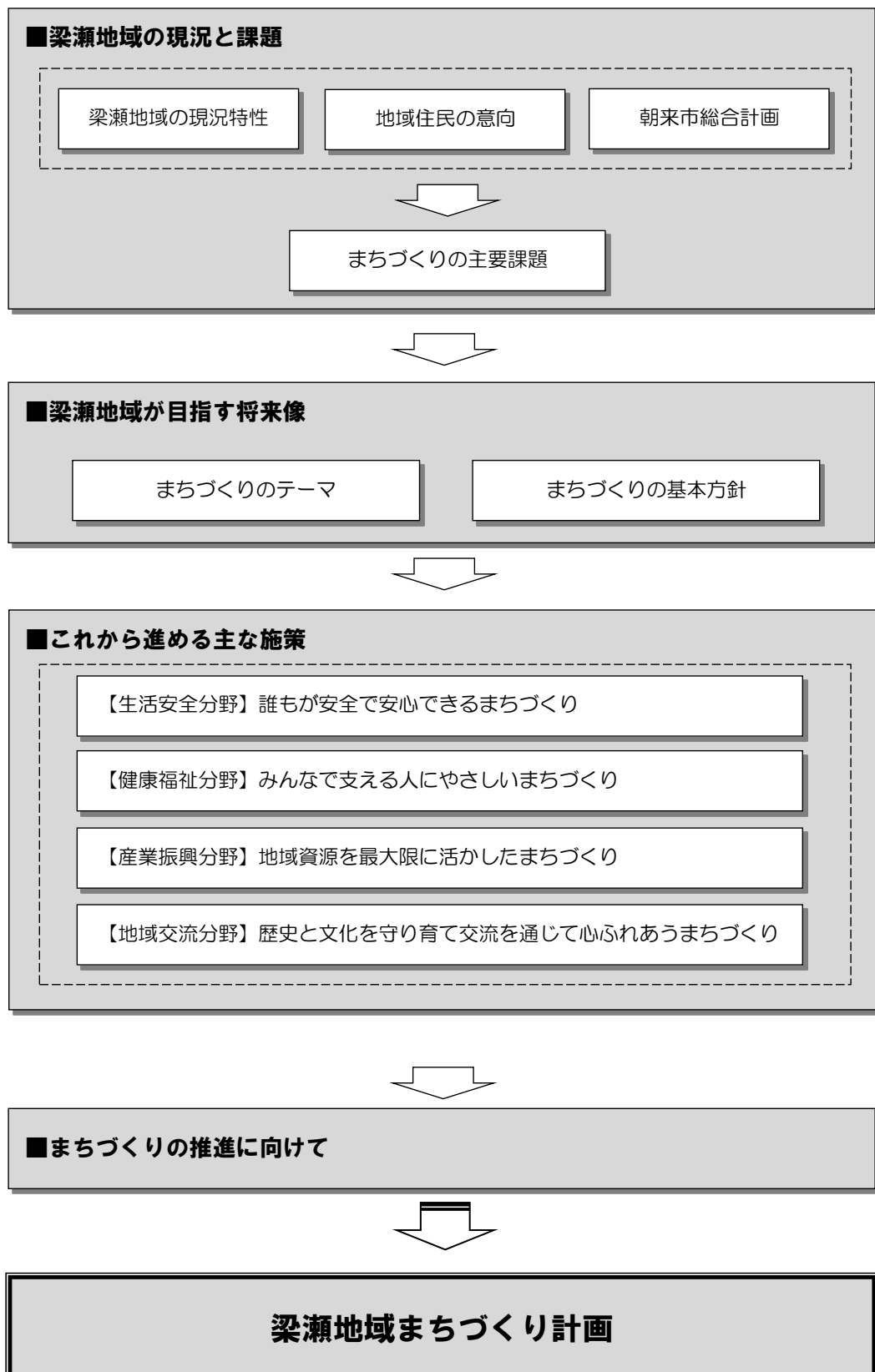
取組みにおいて地域の状況や地域住民の意向などを踏まえながら、地域における取組みの重要性を3段階（やや重要、重要、特に重要）に区分し明確にします。



4) 取組みの役割分担

地域でできることは地域主体で、専門知識やノウハウが必要となれば様々な方との協働で、行政がしなければいけないことは行政主体で行っていくなど役割分担を明確にします。

5) 計画の構成



第1章 梁瀬地域の現況と課題

第1章 梁瀬地域の現況と課題

1. 梁瀬地域の現況

1) 梁瀬地域の概要

(1) 位置

梁瀬地域は、但馬の玄関口として兵庫県朝来市の東部（山東町内）に位置し、東は京都府福知山市に隣接しています。

■位置図



(2) 地勢

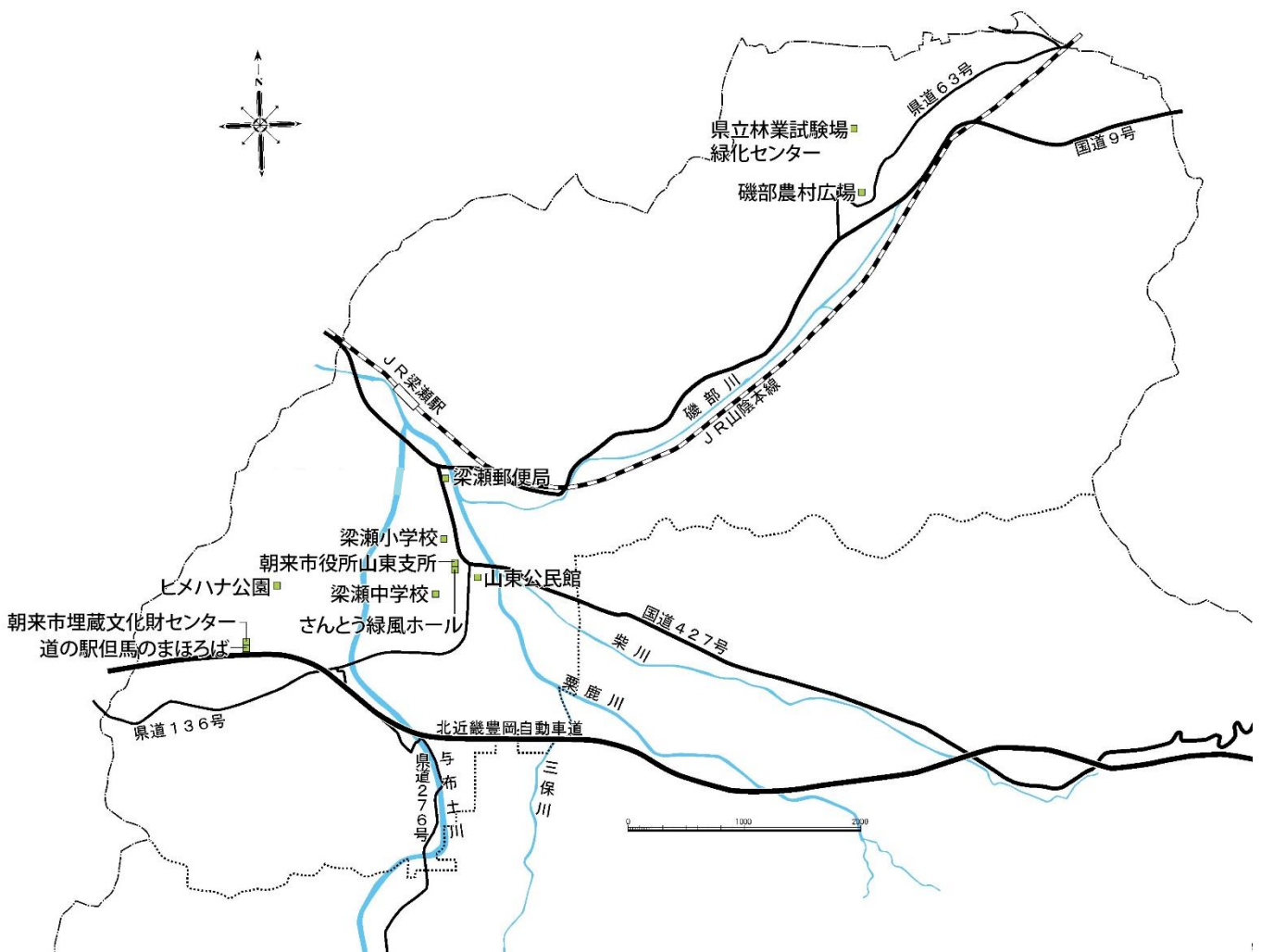
梁瀬地域は、南側を山々に囲まれた山東盆地の中に位置し、町の中央部を円山川の支流である与布土川と高峰栗鹿山から流れ出る栗鹿川、夜久野高原からの磯部川が流れ、梁瀬地域の中心である矢名瀬の町裏で合流して円山川に接続しています。

(3) 交通

梁瀬地域内には、国道9号、国道427号、県道136号などの幹線道路が走り、地域内で合流しています。また、北近畿豊岡自動車道が東西に走り、道の駅「但馬のまほろば」が地域内に位置しています。

公共交通としては、JR山陰本線が走り、JR梁瀬駅が地域内に位置しています。また、地域内を路線バスと朝来市コミュニティバス「アコバス」が走っており、地域住民の生活の足として利用されています。

■交通網図



2) 梁瀬地域の歴史・文化と地域資源

(1) 歴史・文化

梁瀬地域は、東に夜久野高原を境にして丹波の国京都府福知山市夜久野町に、東南部は遠阪峠を境にして丹波の国兵庫県丹波市に接しているため、古くから京の都から丹波や夜久野を超えて但馬に入る玄関口として古代交通の要衝でした。

そのため、宿場町・国境の町として政治・文化・産業の重要な地域として栄え、現在においても宿場町の古いまち並みが残っています。

梁瀬地域が位置する山東町は、昭和 29 年に梁瀬町、粟鹿村、与布土村が合併してできた町でしたが、平成 17 年に生野町、和田山町、朝来町の 3 町と合併し、現在の朝来市となっています。

(2) 地域資源

梁瀬地域内には、宿場町の古いまち並み、造り酒屋、ウツギノヒメハナバチ（県天然記念物）、ヒメハナ公園、茶すり山古墳、寺社仏閣、田園風景など多様な地域資源を数多く有しています。

■ 地域資源分布図



3) 梁瀬地域の人口の構成と推移

(1) 総人口、年代別人口および人口推移

梁瀬地域の人口は、3,285人（平成30年6月末現在）となっており、初版のまちづくり計画を作った際の情報3,458人（平成21年12月1日現在）に比べて、173人減となっており、比率としては約5%の減少となっている。

行政区別で人口を比較すると、最も多い行政区で621人、最も少ない行政区で42人となっており、梁瀬地域という範囲の中でも行政区間の人口の格差が大きいため、区内での課題やニーズなども大きく異なっているものと考えられる。

年代別の人口に着目すると、最も構成比率が高いのは、60歳代であり、0～20歳代に関しては、それ以降の比率に比べて相対的に小さい推移となる。

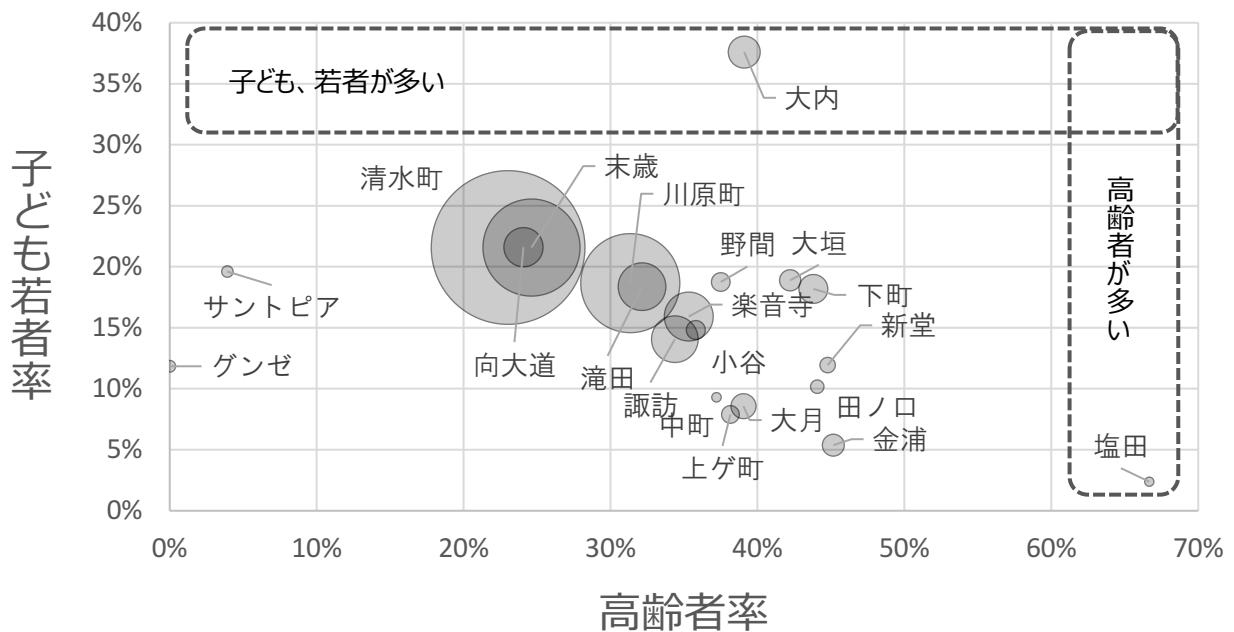
■地区別の世代別人口（平成30年6月末現在、住民基本台帳情報より）

年齢	0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90歳以上	合計
滝田	16	20	15	25	15	26	26	19	21	13	196
大垣	7	10	4	6	12	9	13	12	14	3	90
下町	15	7	7	11	11	10	20	23	11	6	121
中町	2	2	3	1	6	9	5	7	5	3	43
川原町	26	49	31	40	49	59	46	46	43	13	402
上ゲ	4	2	6	7	6	16	10	11	11	3	76
末歳	38	47	43	37	63	47	48	43	20	8	394
新堂	3	5	4	6	6	7	13	12	7	4	67
大内	19	31	1	8	15	3	22	16	11	7	133
塩田	0	1	1	2	4	3	5	11	11	4	42
野間	7	8	7	8	8	8	10	13	9	2	80
田ノ口	4	2	3	5	8	6	11	7	11	2	59
金浦	1	4	6	8	11	12	21	17	12	1	93
諏訪	13	14	18	22	16	33	22	23	21	10	192
大月	3	6	9	7	14	15	15	17	13	6	105
向大道	15	20	24	16	16	26	11	17	15	2	162
楽音寺	16	16	20	25	16	25	28	21	22	12	201
清水町	65	69	75	80	88	66	66	59	44	9	621
小谷	2	10	4	10	15	9	11	14	3	3	81
ゲンゼ	0	1	17	28	5	1	0	0	0	0	52
ゲンゼ社宅	3	5	2	1	7	6	0	0	0	0	24
サントピア	4	6	10	12	10	3	4	2	0	0	51
合計	263	335	310	365	401	399	407	390	304	111	3,285
構成比率	8.01%	10.20%	9.44%	11.11%	12.21%	12.15%	12.39%	11.87%	9.25%	3.38%	100%

また、各行政区（グンゼ、グンゼ社宅、サントピアを含む）における子ども若者率と高齢者率とを比較すると下のようなグラフとなる。ここでは、円の大きさが人口の多さを示概ね、相対的に人口規模が大きい行政区ほど高齢者率が低い傾向にある。梁瀬地域の中でも北部（磯部地域）と呼ばれる地域はいずれも高齢化率が35%以上に位置している。一言で梁瀬地域といっても、行政区間でこれだけの傾向の違いがあれば困りごとや必要なことが違ってくることがあることが容易に想像できます。

■行政区別、子ども若者率と高齢化率の関係

梁瀬地域の各行政区における
「子ども若者率」と「高齢化率」と「人口」



2000年、2005年、2010年および2015年の国勢調査の結果を基に、2030年までの人口推移を予測したものを下に示している。

直近の調査（2015年）に比べて、2030年における梁瀬地域全体の人口としては465人減となり、比率で考えれば、15%の減少となる。また、同じく2015年と2030年の比較で生産者年齢（15歳以上65歳未満）人口に限れば、2015年1,720人、2030年1,389人の331人減となり、比率で考えれば、20%の減少となり、さらに減少比率が大きいものとなる。

■年代別、人口予測（2000年、2005年、2010年、2015年は国勢調査より）

年齢	2000(H12)	2005(H17)	2010(H22)	2015(H27)	2020	2025	2030
0-4	191	165	124	132	125	120	108
5-9	214	211	178	160	155	148	142
10-14	228	220	208	182	162	158	151
15-19	192	180	157	148	135	120	117
20-24	131	148	129	82	99	90	80
25-29	213	148	170	170	102	123	112
30-34	217	199	169	162	172	103	124
35-39	192	211	183	164	155	164	99
40-44	223	198	201	198	167	158	168
45-49	207	214	206	190	195	165	155
50-54	269	201	212	204	187	192	162
55-59	205	262	186	218	199	183	188
60-64	208	212	260	184	219	201	184
65-69	238	204	213	252	181	216	198
70-74	263	225	196	178	231	166	198
75-79	168	235	202	162	155	201	144
80-84	104	146	194	136	129	123	160
85-89	57	77	90	124	89	84	81
90-94	29	26	39	30	53	38	36
95-99	8	12	10	8	10	17	12
100-	2	1	1	2	1	1	3
計	3,559	3,495	3,328	3,086	2,922	2,772	2,621

3. 地域住民のまちづくりに対する意向

1) 梁瀬地域まちづくりアンケート調査

ここでは、梁瀬地域のまちづくりに向け、アンケート調査結果の概要を整理します。アンケートの設問の意図としては主に、①回答者の属性の調査、②梁瀬地域での生活における意識・意向調査の2つとしている。

調査結果の分析としては主に、①年代、②性別の2つの観点でデータを整理し、クロス集計をすることで傾向を確認した。その2つの観点に着目した理由は、世代間および性別間による意識・意向の違いを浮き彫りにすることで、通常分断されがちな年代および性別の違いによる意識・意向の凸凹を埋め合わせられるような支え合いの仕組みをデザインできるのではないかと仮定したからである。

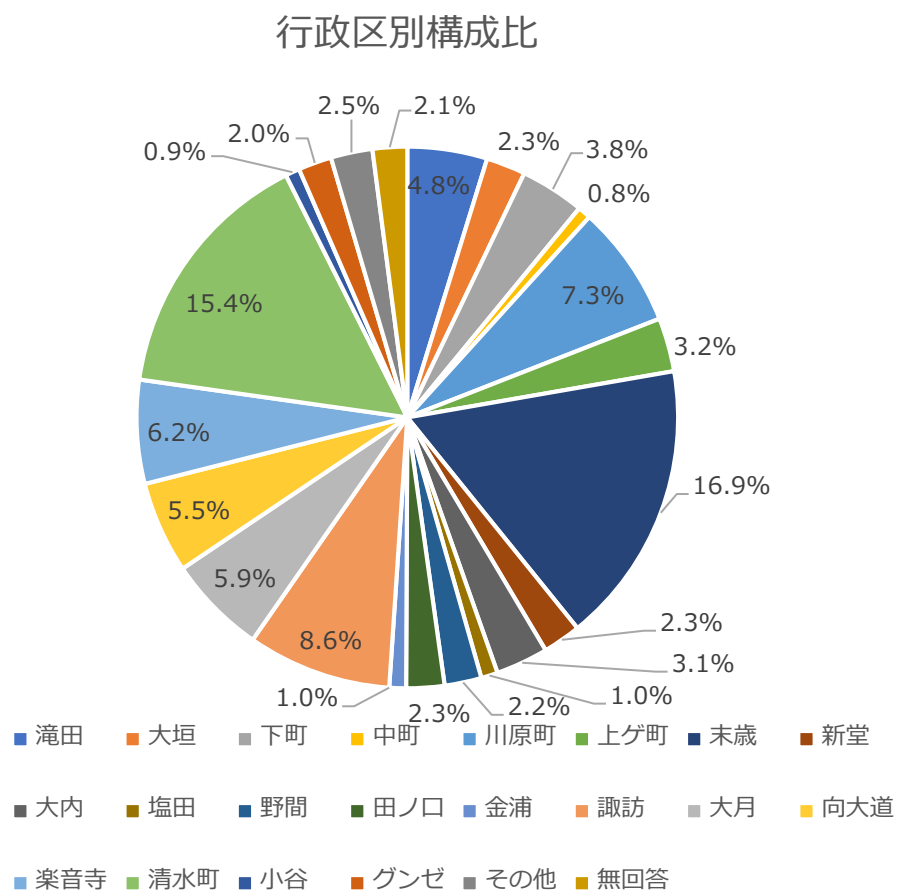
(1) アンケート調査の概要

調査時期	平成30年8月1日～9月15日
調査対象	・2,901人 ・梁瀬地域に住む15歳以上の方全員（平成30年6月末日時点）
調査方法	配布方法：市広報誌と共に区長を通じての配布、中学生には梁瀬中学を通じて配布 回収方法：区長を通じての回収、自治協窓口での直接回収および郵送での回収
回収率	・48.5%（1,406通／2,901通）
主な調査内容	・回答者の属性 ・住みやすさについて ・住み続けることへの意思について ・住んでして良いところ、悪いところ ・満足度と重要度 ・困りごとについて ・助けることができること、協力できること ・地域活動に関する関心度と活動度 ・空き家、空き農地について ・自由記述

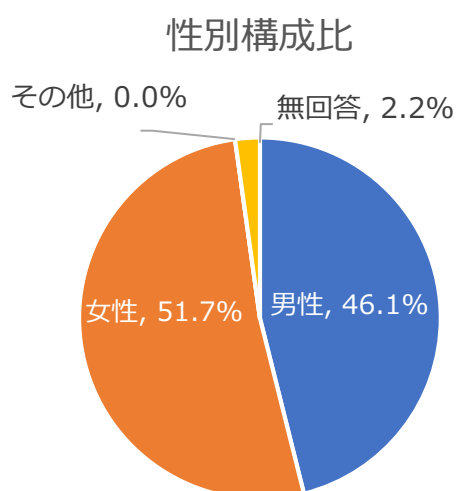
(2) 回答者の属性

ここでは、実際のアンケートに答えていただいた方々の属性情報の一部をまとめます。

■回答者の住む行政区の構成

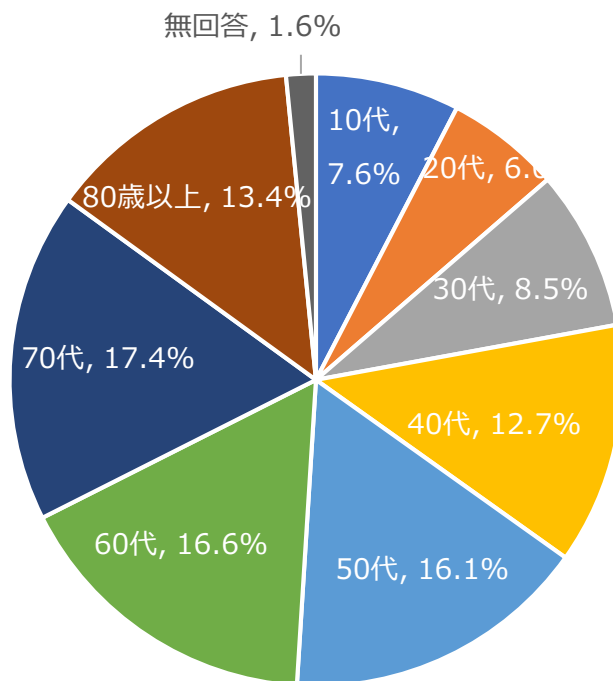


■回答者の性別



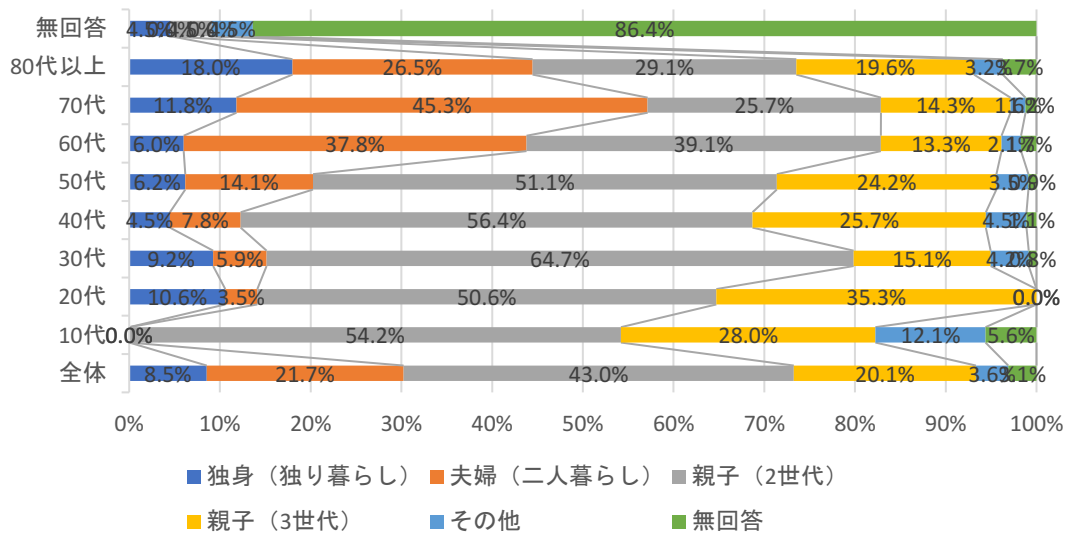
■回答者の世代構成

世代別構成比



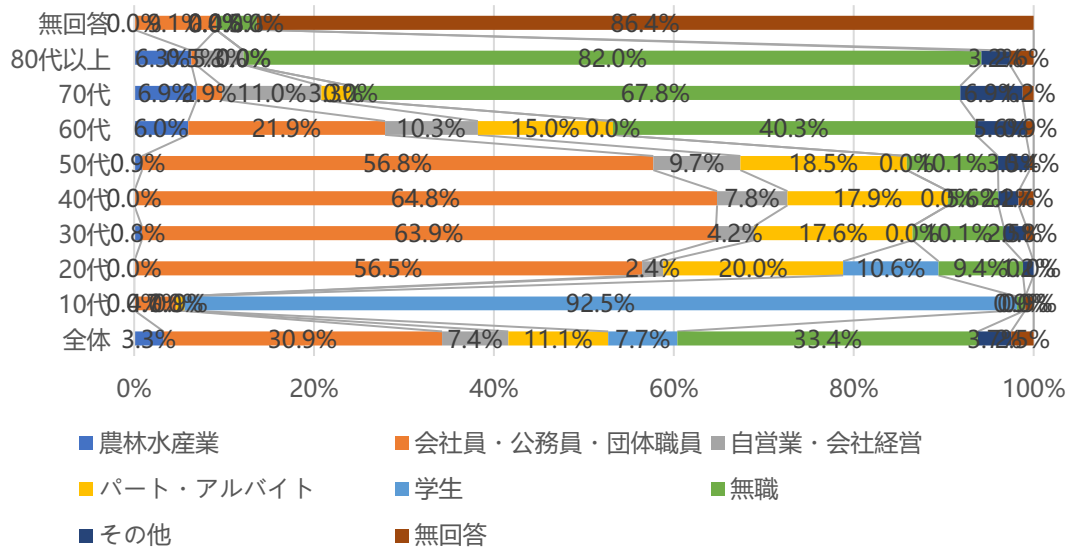
■世代別世帯構成

年代別 世帯構成 (男性+女性)



■世代別職業構成

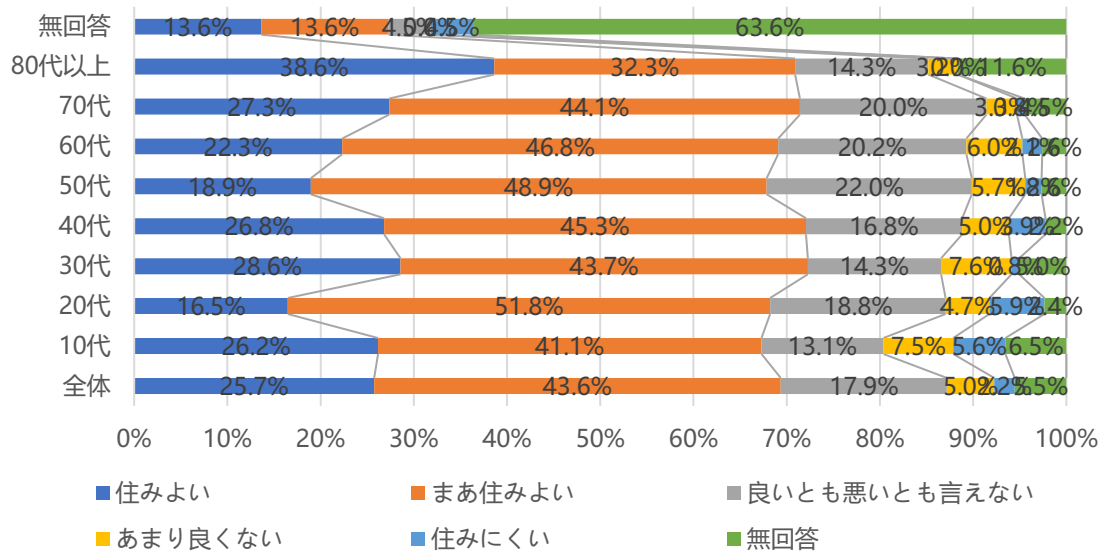
年代別 職業構成（男性+女性）



(3) 生活における意識・意向調査

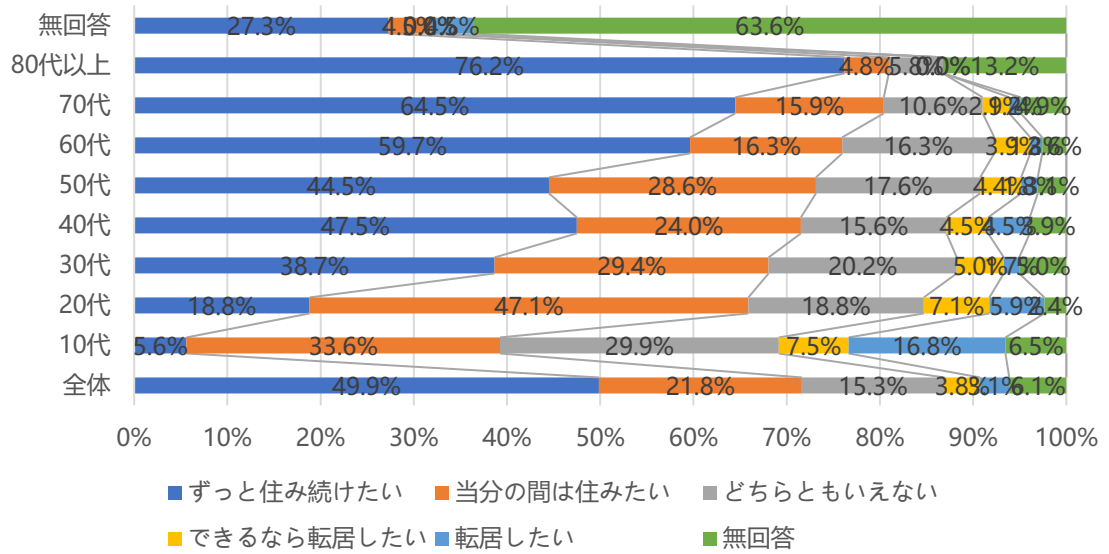
■住みやすさについて

年代別 地域の住み良さ（男性+女性）



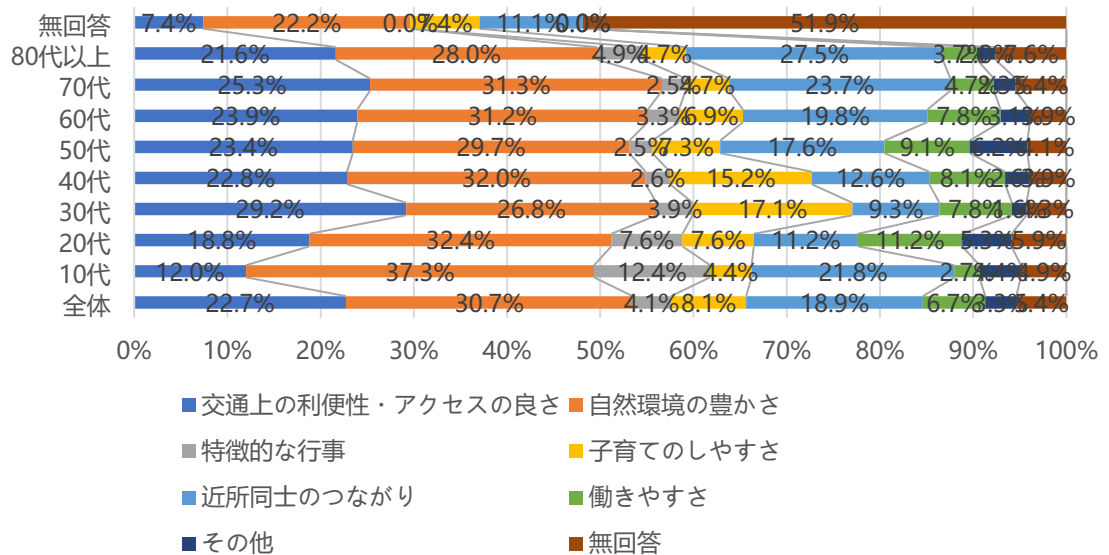
■住み続けることへの意思

年代別 住み続けたいかどうか（男性+女性）

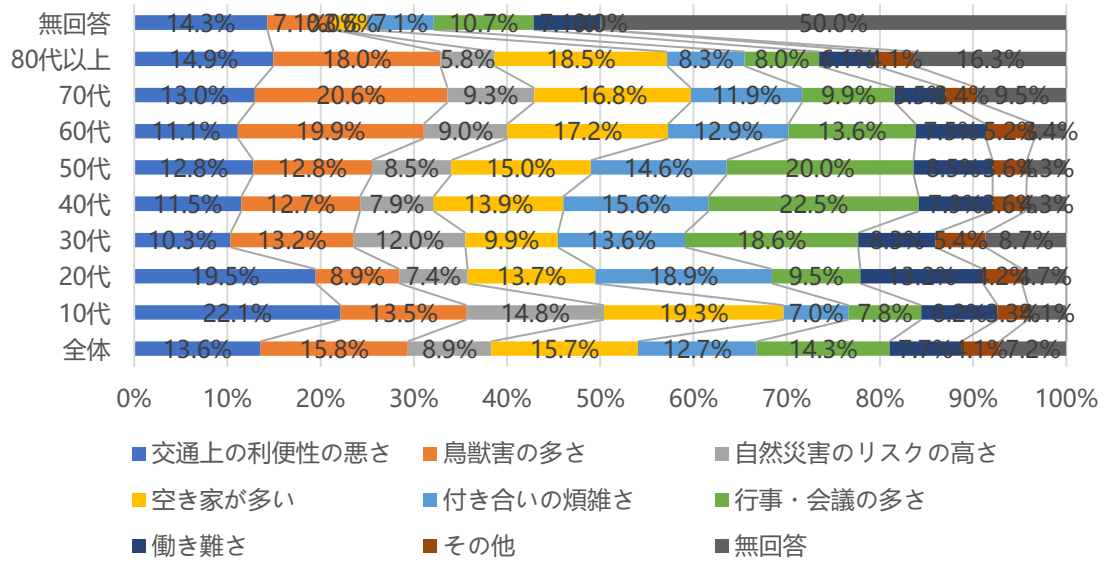


■住んでいて良いところ／悪いところ

年代別 地域の良いところ（男性+女性）



年代別 地域の良くないところ（男性+女性）

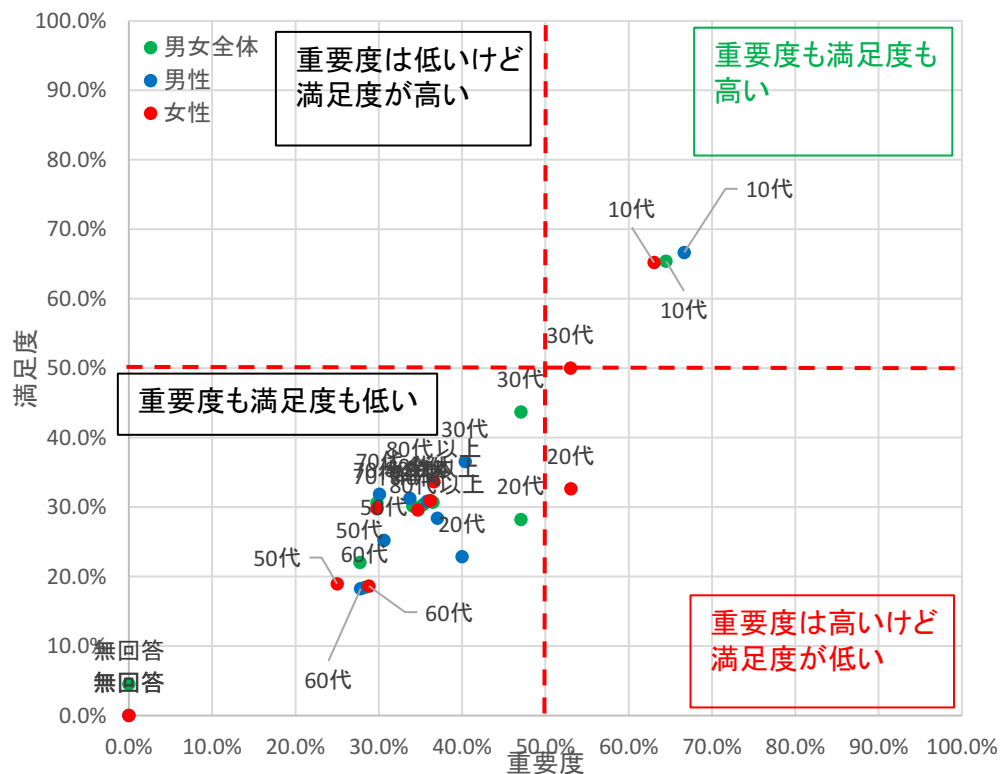


■満足度と重要度

満足度と重要度について、設問毎（テーマ毎）に、「満足している」、「やや満足している」の割合を加算した数値を縦軸に、「重要である」、「やや重要である」の割合を加算した数値を横軸に座標を設定して、各年代・性別毎に回答した結果をプロットすると下のようになる。

例) イベントについて満足度と重要度

イベントについて満足度と重要度



■重要度と満足度のまとめ

それぞれのテーマに関して、(I) 重要度も満足度も高い、(II) 重要度が高いが満足度は低い、(III) 重要度も満足度も低い、(IV) 重要度は低いが満足度は高い、(V) いずれでもない、のいずれかに分類すると次のようなリストになる。なお、(II) と (III) の領域がまたがる場合は、(II-III) のように記載するものとする。

(I) 重要度も満足度も高い

該当無し

(II) 重要度が高いが満足度は低い

《道路・河川の維持管理》、《地域内の美化・環境保全》、《消防活動》、《防災活動》、《防犯・交通安全》、《公園・集会所の維持管理》、《子どもの安全を支える活動》

(III) 重要度も満足度も低い

《イベント》、《高齢者対象の事業》、《伝統文化・芸能の継承》、《歴史に関する保全・管理活動》、《生涯学習関連の活動》、《健康づくり活動》、《生きがいつくり》、《子ども対象の行事》、《保護者同士が交流できる場》、《日常的な不安や悩みが相談できる場や人》、《スポーツ活動》、《スポーツ大会》、《農地・山林の維持管理》、《地域の魅力を体験する活動》、《特産品の開発、販売する活動》、《空き家の紹介や移住定住活動》、《婚活イベントなど結婚対策》、《ITを活用した住民向け広報・連絡》、《インターネットを活用した市外への広報・情報発信》、《地域づくりに関して多様な人の意見を聞く》

(IV) 重要度は低いが満足度は高い

該当なし

(II-III) 概ね重要だが満足度が低い

《生活支援活動》、《移動支援活動》、《子育て相談できる場や人》、《空き家の管理活動について》、《地区内での情報共有》

(V) いずれでもない

《行政区・地域の付き合い》

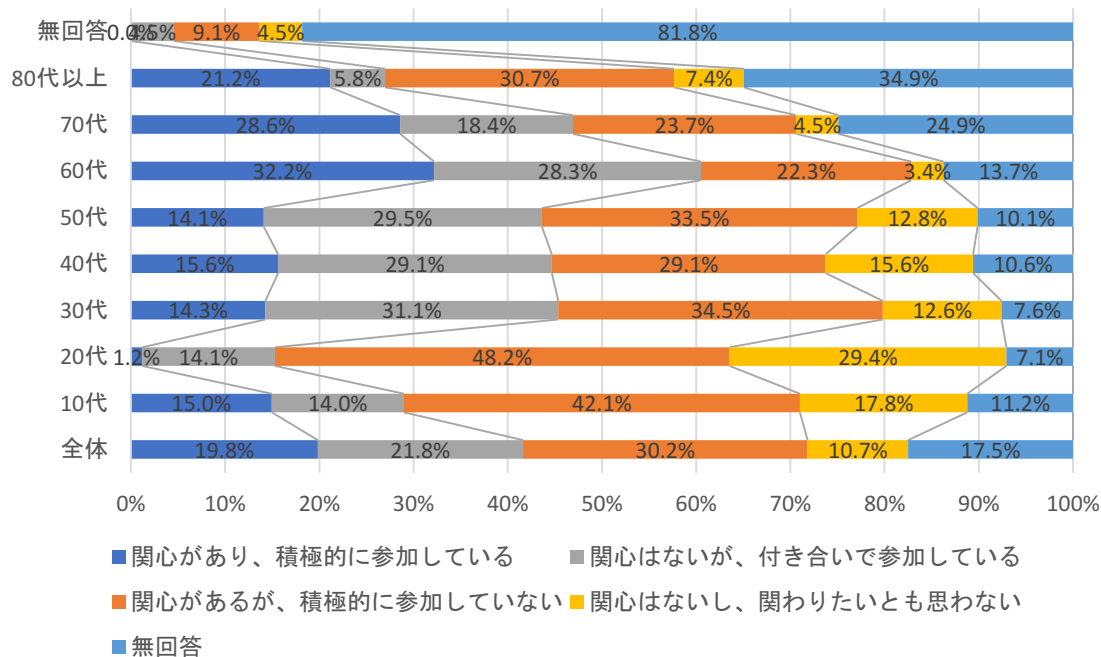
順位	困りごと・不安ごと年代別の順位表 全体（男性+女性）															
	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80歳以上	
1	35	進学・就職	13	経済	24	経済	32	経済	54	介護	66	農林・森林	62	健康	67	健康
2	20	移動	13	仕事	20	子育て	32	健康	49	農林・森林	60	健康	50	農林・森林	49	介護
3	20	経済	13	災害備え・避難	18	仕事	28	仕事	45	健康	51	介護	40	介護	35	農林・森林
4	19	仕事	13	結婚	17	災害備え・避難	22	災害備え・避難	37	経済	45	経済	24	経済	33	災害備え・避難
5	18	災害備え・避難	8	進学・就職	13	地域付合・活動	22	進学・就職	29	地域付合・活動	35	災害備え・避難	21	災害備え・避難	30	移動
6	17	農林・森林	8	緊急時相談	12	進学・就職	22	農林・森林	27	災害備え・避難	22	地域付合・活動	19	移動	22	日常生活
7	16	日常生活	8	地域付合・活動	11	結婚	22	介護	27	仕事	18	仕事	18	軽作業	20	経済
8	14	緊急時相談	8	健康	10	農林・森林	21	子育て	13	看病・世話	14	看病・世話	14	地域付合・活動	20	軽作業
9	12	結婚	8	子育て	9	健康	19	地域付合・活動	13	結婚	14	結婚	13	看病・世話	19	地域付合・活動
10	12	相談相手	7	相談相手	6	介護	9	日常生活	13	軽作業	14	軽作業	11	相談相手	18	看病・世話
11	12	地域付合・活動	7	介護	6	移動	8	相談相手	11	進学・就職	10	相談相手	9	仕事	14	緊急時相談
12	11	介護	6	看病・世話	5	相談相手	8	看病・世話	9	子育て	9	緊急時相談	9	日常生活	12	相談相手
13	11	看病・世話	4	軽作業	5	日常生活	7	緊急時相談	9	緊急時相談	9	移動	9	緊急時相談	7	仕事
14	11	健康	3	農林・森林	3	緊急時相談	5	結婚	8	日常生活	8	日常生活	8	結婚	7	結婚
15	10	軽作業	2	移動	2	軽作業	5	移動	8	移動	6	進学・就職	2	進学・就職	2	進学・就職
16	9	子育て	2	日常生活	1	看病・世話	2	軽作業	7	相談相手	4	子育て	2	子育て	1	子育て

■協力できること、資格など記述回答例

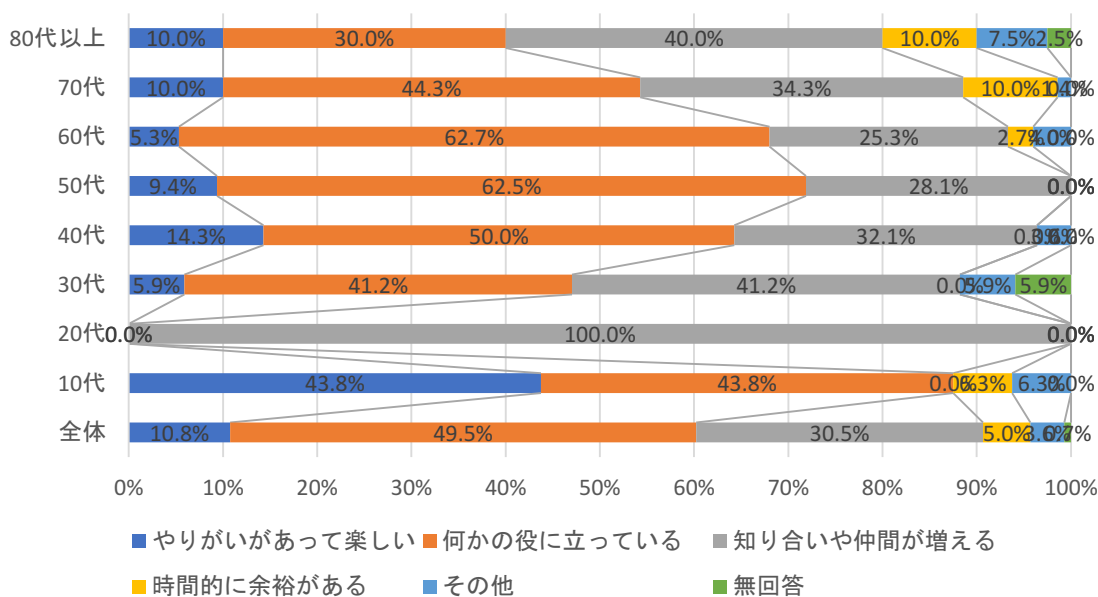
看護師、管理栄養士、医療職、作業療法士、自立活性化インストラクター、看護師、介護福祉士、ヘルパー、教員免許、保育士、家庭教師経験、キャリアアドバイザー、ファイナンシャルプランナー2級、調理師免許、電気工事士、剪定作業経験、家電量販店勤務、社会教育主事、老人クラブ、運転免許証、消防団、防災士、等

■地域活動に対する関心度と活動度について

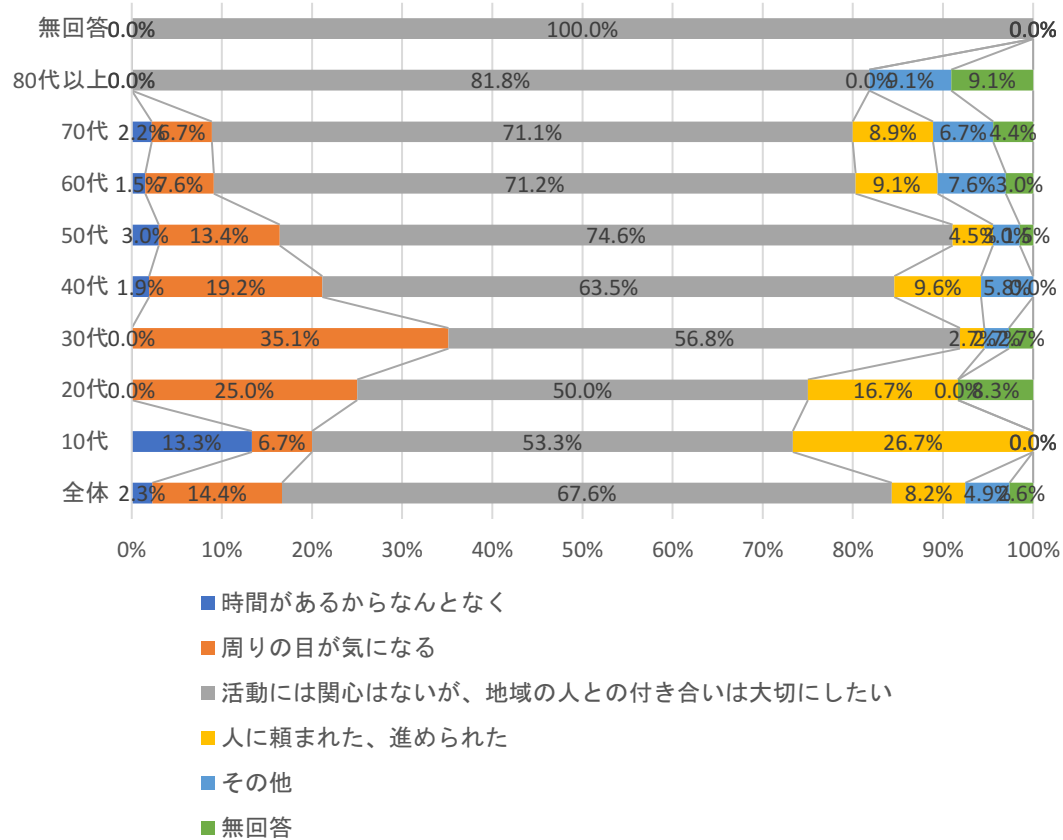
地域活動と関心度（男性+女性）



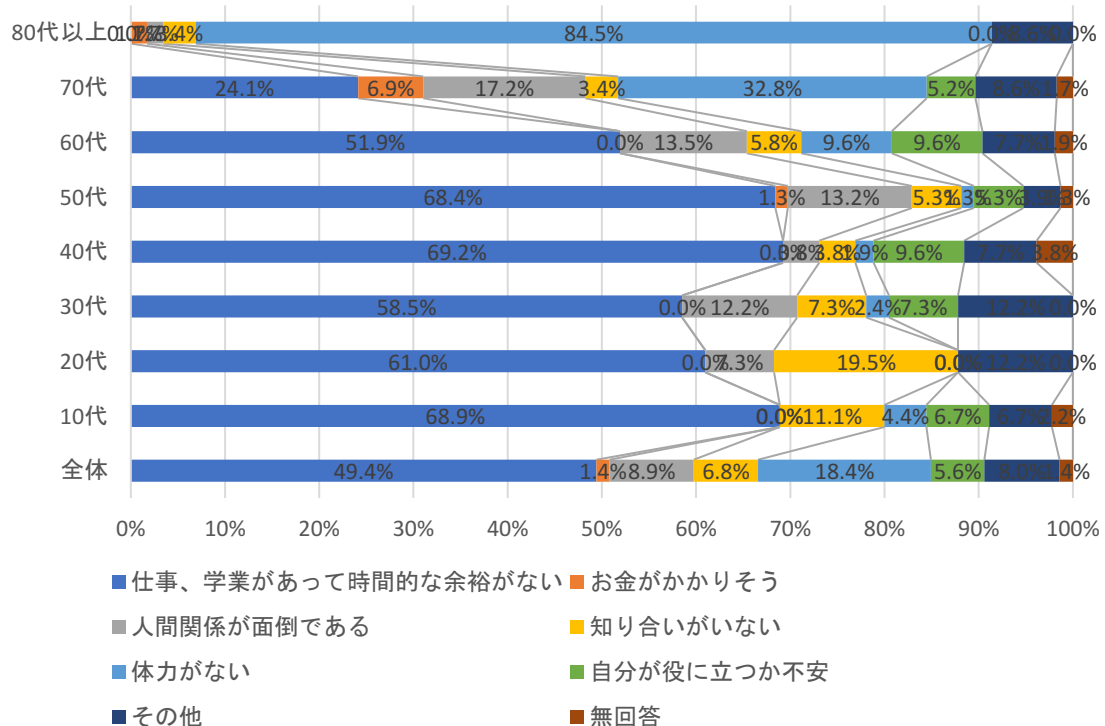
「関心があり、積極的に参加している」の理由（男性+女性）



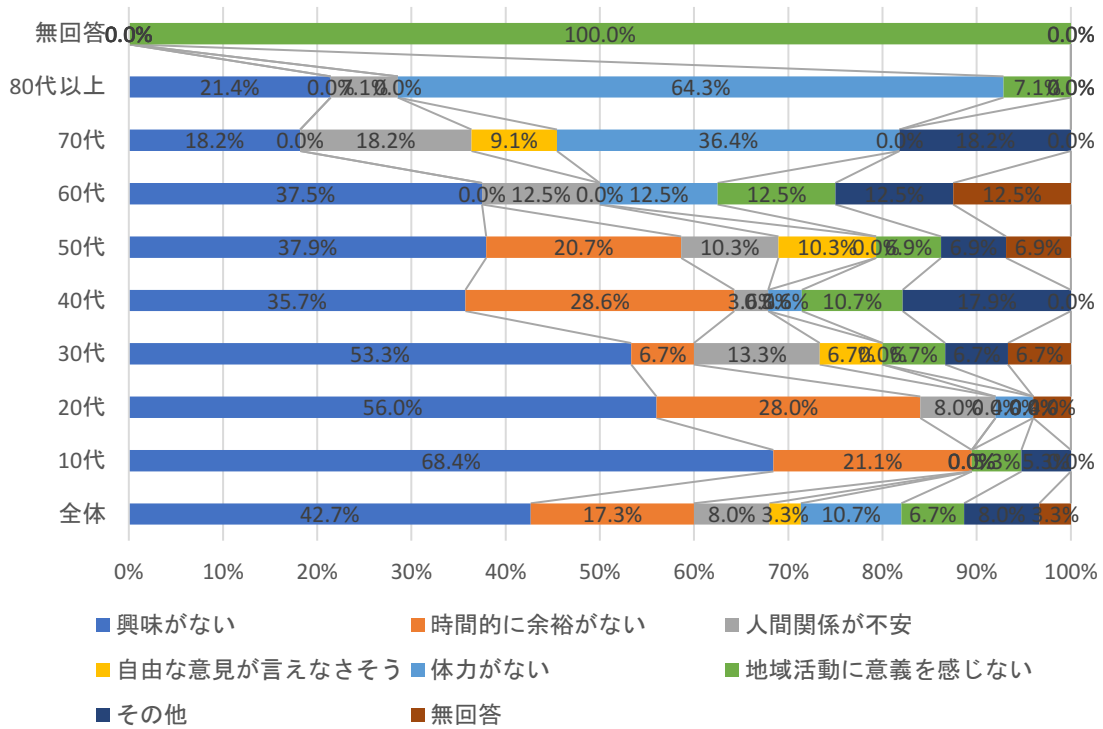
関心はないが、付き合いで参加している（男性+女性）



「関心があるが、積極的に参加していない」の理由（男性+女性）

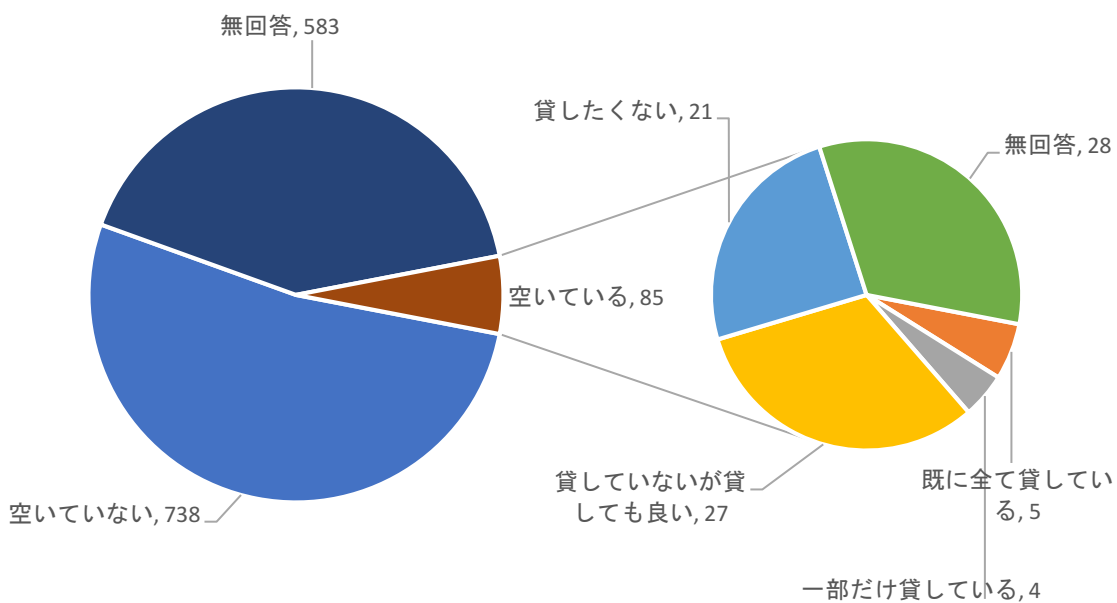


「関心はないし、関わりたいとも思わない」の理由
(男性+女性)

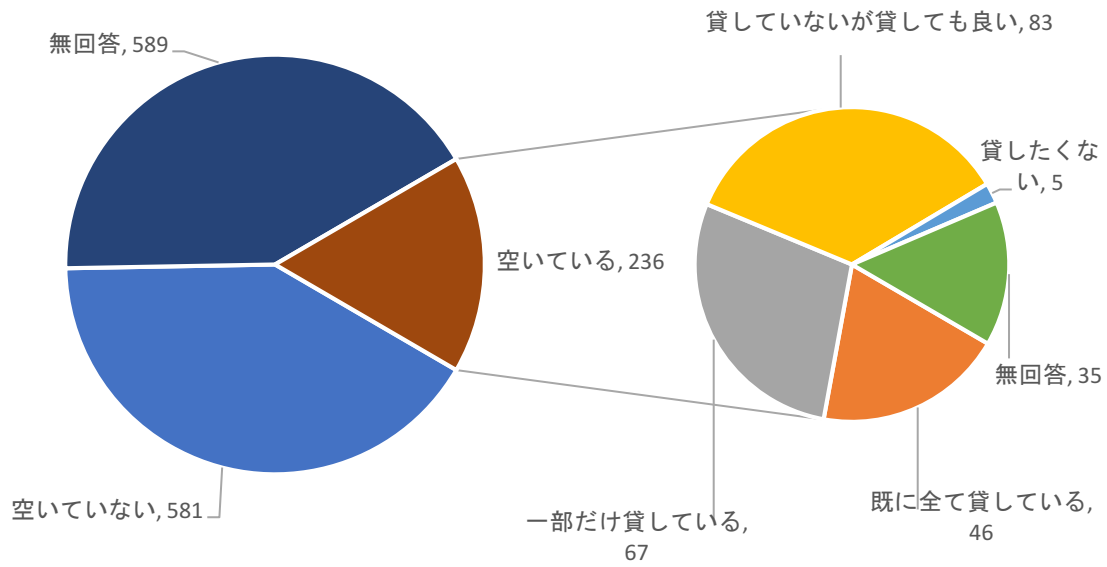


■空き地・空き農地について

空き家・空室含めた建物の空きについて



田畑・森林などの土地の空きについて



4. 朝来市総合計画

梁瀬地域まちづくり計画の上位計画である「朝来市総合計画」の方針を整理します。

<p>計画の構成と期間</p>	<p>初年度：平成26年度(2014年) 目標年度：平成33年度(2021年)</p> <p>「朝来市総合計画」の構成と期間</p>
<p>朝来市の最重要課題</p>	<p>第2次朝来市総合計画では、最重要課題として、「推計されている人口減少傾向を少しでも和らげること」、つまり人口政策です。</p> <p>そのためにできる限り社会減を抑制する取り組みを進め、朝来市に人が集まり、留まるまちづくりを目指すとともに、40年後に今よりも人口が少なくなっても朝来市民が幸せに暮らしていけるための、朝来市全体の地域力の維持、向上と効率的な行政運営を目指していきます。</p>
<p>基本理念</p>	<p>「創造」「絆力」「自律」 (元気で、いきいきとした市民の暮らしの場を創造し、市民がともに絆でつながり合って、自律した生活意識を高めていく)</p>
<p>将来像</p>	<p>地域の人(朝来市民)も地域外の人(朝来市ファン)も、朝来市の地域発展の主役であり、これらの人を「あなた」に総括し、「あなた」が好きになる(暮らす、尋ねる、楽しむ)交流のまちを目指すこと</p>

重点プラン

人口政策の中心として若者層を定め、その定住促進をリーディングプランとして位置づけるとともに、子どもを安心して生み育てる環境充実、市民の生涯現役および将来を見据えた地域力の強化などの施策を重点的に取り組み、長期的で戦略的な視点にたって、「あなたが好きなまち・朝来市」の実現を目指します。

(1)「メイドイン朝来」プロジェクト

人口の社会増を促進し、社会減を抑制するために、朝来市への移住を促進するとともに、朝来で生まれ育った市民のふるさと回帰を促進します。

- ・ふるさと回帰人材の育成
- ・既存産業の活性化
- ・新しい雇用創出
- ・移住促進

プロジェクト指標

社会減抑制；15歳－49歳の社会減少率10%抑制
社会増促進；25歳－29歳の回帰率10%向上

(2)「朝来@Home(あっとホーム)」プロジェクト

朝来市における人口の自然増を促進するために、朝来市が一つのホーム(家)となって子育て世代を支える環境づくりを行います。

- ・未婚率の低下抑制
- ・安心して子育てができる環境の整備
- ・安全・安心な出産環境の整備

プロジェクト指標

自然増促進；19歳－44歳女性の出生率10%向上

(3)「生涯現役の場おこし大作戦」プロジェクト

人口の自然減を抑制するとともに朝来市の地域力を高めるために、65歳以上の地域住民を柱とした生涯現役の場おこしを行います。

- ・元気老人率の向上
- ・「地域を支える世代」の育成・支援
- ・生涯現役に向けた市民の健康向上

プロジェクト指標

自然減抑制；65歳－90歳の生残率1%向上

5. まちづくりの主要課題

ここでは、まちづくりの主要課題として、初版の計画に記した6つを主要課題からさらに2つを追加をし、下記の8つを設定します。

1) 少子・高齢化社会への対応

少子・高齢化社会を迎え、核家族化の進展、生活様式の多様化などから、家族や地域で互いに支え合う力が弱くなってきています。

そのような傾向の中で、梁瀬地域においては、雇用の確保、医師不足による医療体制の問題、災害への備え、子育てや老後の不安など様々な課題を抱えています。

今後、少子・高齢化は、ますます進展していくと予測されるため、少子・高齢化社会を踏まえた上でのまちづくりを進めていく必要があります。

2) 安全・安心な地域の創出

梁瀬地域は、高齢者が多く、災害時への対応、交通事故などに対する不安などを抱えている地域住民も多く、もしもの時の備えや擁護体制の確立、災害等に対する広報活動、情報の発信など地域ぐるみでの対応が必要です。

また、ゴミのポイ捨てや不法投棄などにより、緑豊かな自然景観が阻害されることが懸念されます。そのため、豊かな自然の保全・活用を図るとともに清掃や美化活動の推進が必要です。

3) 健康・福祉環境の充実

梁瀬地域においては、医師不足による医療体制の問題、休日、深夜の救急医療問題など医療体制の充実が必要です。

また、より良い生涯を過ごすため、健康づくりや子育て支援等地域が支える総合的な福祉支援も必要です。

4) 地域産業の活性化

梁瀬地域は、かつてから農業、繊維産業を基幹産業として発展してきましたが、就業者の減少や高齢化の進展、グローバル化などにより活気が失われつつあります。

今後は、担い手や後継者の育成を進めていく必要があります。

また、遊休農地の解消や農業や繊維技術などの体験を通じた交流のまちづくりを展開するなど、多様な地域資源と合わせた取組みが必要です。

さらに、産業の活性化から地域の活性化につながる特産品開発を造り酒屋など地域の特徴を活かしながら進めていく必要があります。

※グローバル化：社会的あるいは経済的な連関が、国家や地域などの境界を越えて、地球規模に拡大して様々な変化を惹き起こす現象。

5) 地域間・地域内交流の促進

梁瀬地域には、宿場町のまち並み、造り酒屋など歴史・文化を背景とした資源に加え、ウツギノヒメハナバチ、ホテルの群生地、豊かな田園風景などの自然資源や道の駅「但馬のまほろば」を有するなど交通の要所ともなっていますが、それらを効果的につなぎ来訪者を受け入れる体制が十分とは言えません。

そのため、今後は、様々な地域資源を有機的に連携し、来訪者を受け入れる体制づくりの充実が必要です。

また、地域内の行事など様々な取組みについては、今後も継続していくために、内容によっては、区の枠を超えた取組みの統合などを検討していく必要があります。

6) 地域づくりに対する地域住民の関心と参加意欲の向上

従来、まちづくりの主体は行政が中心でしたが、まちづくりへの地域住民の意識の高まりなどを受けて、地域住民はもとより地域住民、企業、関係機関、各種団体等、様々な主体が関わるようになってきました。

しかし、梁瀬地域においては、特に若い世代の地域行事への関心は低く、地域住民同士のつながりが薄れていくことが懸念されます。

そのため、今後は、地域住民の主体的な参加を促進するとともに、地域住民、企業、関係機関、各種団体等が適切な役割分担の下、相互に連携する協働のまちづくりが必要です。

7) 地域活動・産業の担い手の発掘

1)の少子・高齢化社会への対応にも関係しますが、少子・高齢化がさらに深刻化することによって、労働人口世代への負担が顕著になってきたといえます。これまで高い人口比率で地域活動を第一線で支えてきた世代が高齢化し、地域活動にも世代交代が必要になってきているのがその背景です。また、産業としても後継者が見込めず廃業が余儀なくされる場面が見えてきています。

現実的な問題として、全ての活動、全ての産業を存続されることは難しい中で、本質を見極め、『目的』と『手段』を常に問いただして関わられる人材を発掘していく必要があります。

8) 持続可能なまちづくりの仕組み構築

6)の地域づくりに対する地域住民の関心と参加意欲の向上からさらに一步先に前に進めて、関心と参加意欲の向上のみならずその結果からさらに一段階進めて具体的なまちづくりの仕組みとして昇華させることが必要です。

そのためには、地域行事に“参加する”ことの楽しむ気持ちを踏み台に、地域に必要な事業に“参画する”、“企画する”ことの喜びを感じられるように支え合えることを仕組みとして位置付けます。

第2章 梁瀬地域が目指す将来像

第2章 梁瀬地域が目指す将来像

1. まちづくりのテーマと基本方針

1) まちづくりのテーマ

梁瀬地域が目指すまちづくりのテーマを次のように設定します。

■梁瀬地域のまちづくりの主要課題

- 1) 少子・高齢化社会への対応
- 2) 安全・安心な地域の創出
- 3) 健康・福祉環境の充実
- 4) 地域産業の活性化
- 5) 地域間・地域内交流の促進
- 6) 地域づくりに対する地域住民の関心と参加意欲の向上
- 7) 地域活動・産業の担い手の発掘
- 8) 持続可能なまちづくりの仕組み構築

課題解決に向けて

■朝来市総合計画

【基本理念】

「創造」、「絆力」、「自律」
(元気で、いきいきとした市民の暮らしの場を創造し、市民がともに絆で繋がり合っ
て、自律した生活意識を高めていく)

【将来像とキャッチフレーズ】

あなたが好きな町・朝来市
(地域の人(朝来市民)も、地域外の人(朝
来市ファン)も、朝来市の地域発展の主役。
これらの人を「あなた」と総括し、「あなた」
が好きになる交流のまちを目指す。)

市のテーマを踏まえ

【梁瀬地域のまちづくりのテーマ】

歴史と文化が香る 緑風の郷 やなせ

～ 住みやすく安心して暮らせるまちを目指して ～

梁瀬地域では、住みやすく安心して暮らせるまちを目指し、地域住民、企業、関係機関、各種団体などが相互に助け合い、支え合う仕組みを構築し、歴史・文化を継承しながら、地域で考え、地域自らが中心となり、まちづくりを進めていきます。

■地域の特徴的な資源を守り・活かしていきます。

宿場町のまち並み、道の駅但馬のまほろば、茶すり山古墳、
緑豊かな田園、造り酒屋、地域食材(但馬牛、岩津ねぎ、黒豆など)、
ウツギノヒメハナバチ、ヒメハナ公園、ホタルの群生地、
縫製技術、あたたかな人情 など

2) まちづくりの基本方針

将来像である「歴史と文化が香る 緑風の郷 やなせ」の実現に向けて、下記に示す4つの分野と複数の分野が関連する事項ごとにまちづくりの将来目標と基本方針を掲げ、まちづくりに取り組んでいきます。

(1) 生活安全分野

将来目標	誰もが安全で安心できるまちづくり
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●災害時や緊急時などへの備えを自主的に行えるよう地域住民に啓発していくとともに、地域全体で防災・防犯活動が行える体制づくりを進めます。 ●緑豊かな自然景観・まち並み景観を守るため、環境整備や美化活動を進めます。

(2) 健康福祉分野

将来目標	みんなで支える、人にやさしいまちづくり
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもから高齢者まで地域住民の健康維持に努め、元気に暮らすことができる環境づくりを進めます。 ●地域で安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを進めます。

(3) 産業振興分野

将来目標	地域資源を最大限に活かしたまちづくり
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●農業・商業・工業・観光産業の有機的な連携の中で、地域全体が一体となった産業振興を進めます。 ●地域食材、造り酒屋、縫製技術など梁瀬地域特有の資源を活かして梁瀬の特産品開発を進めていきます。

(4) 地域交流分野

将来目標	歴史と文化を守り育て交流を通じて心ふれあうまちづくり
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ●地域内の伝統行事やイベントを通じて、人と人とのつながりを保ち、共に支え共に取組む機運を高めていきます。 ●地域の伝統文化や地元食材などの地域資源を地域外へPRし、地域内へ人を呼び込む取組みを進めます。

第3章 これから進める主な施策

第3章 これから進める主な施策

1. 各分野別の主な施策

各分野別の将来目標や基本方針に沿って、今後取組んでいく施策を以下に整理します。

1) 生活安全分野

(1) 施策一覧

区分	番号	施策名	施策概要
地域防災	①	地域防災活動	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校と連携した地域防災講座を開催し、防災知識の習得と防災意識の高揚を図ります。 地域防災に関する広報活動や情報の発信を行います。
	②	地域防災計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域を歩き避難所や避難ルート、危険箇所の確認をした上で、地域の避難所、危険箇所等を掲載した防災マップを作成します。 地域防災計画の策定を推進します。
	③	自主防災組織	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災力の向上を図るため、自主防災組織のリーダー等を対象とした意見交換会を開催します。 自主防災組織間の交流を進め、地域一体となり、安全なまちづくりに取り組む体制づくりに努めます。
	④	住宅用火災警報器	<ul style="list-style-type: none"> 火災に対する備えとして、住宅用火災警報器の設置を啓発します。 消防団と共に住宅用火災警報器の電池交換の案内を行います。
地域防犯	⑤	地域防犯活動	<ul style="list-style-type: none"> 警察等と連携し、防犯まちづくり研修会を開催します。 防犯意識の高揚に努め、安全で快適なまちづくりを推進します。
	⑥	地域の安全・安心見守り隊	<ul style="list-style-type: none"> 児童の登下校時の見守り立番を実施します（見守り隊）。 高齢者の地域での活動を支援します。 街路灯の点検、増設、防犯看板の整備等を進め、安心・安全な地域づくりに努めます。
地域環境	⑦	環境保全活動	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全活動（クリーン作戦（5月）、河川清掃（7～8月）、河川の清掃と生き物観察会（8～9月））を支援します。
	⑧	不法投棄防止	<ul style="list-style-type: none"> ゴミの不法投棄の対策を検討します。
	⑨	人と自然の共生	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境の保護を図り、生態系の保全に努めます。 下草刈や竹林の整備など、自然環境と生活環境の調和と、景観の保全に努めます。
地域交通	⑩	移動手段の確保	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民の利便性に資する交通手段を検討し、地域住民の移動に関する課題解決に努めます。

(2) 施策の取組み期間、重要度、役割分担

施策名	いつまでに			重要性			役割分担 (施策主体)		
	短期	中期	長期	やや重要	重要	特に重要	地域	協働	行政
① 地域防災活動	○					○	○		
② 地域防災計画		○			○			○	
③ 自主防災組織		○			○		○		
④ 住宅用火災警報器	○			○			○		
⑤ 地域防犯活動	○					○	○		
⑥ 地域の安全安心見守り隊	○					○		○	
⑦ 環境保全活動	○			○			○		
⑧ 不法投棄防止			○	○				○	
⑨ 人と自然の共生			○	○				○	
⑩ 移動手段の確保			○		○			○	

2) 健康福祉分野

(1) 施策一覧

番号	施策名	施策概要
①	多世代の健康増進	・児童や幼児を対象とした取組みや高齢者を対象とした取組みなど、幅広い世代の健康増進に努めます。
②	食育講習会	・普段料理をしない人を対象として、料理会など食の大切さや食の安全を伝えるための講習会を行います。 ・地元食材の紹介や地産地消を推進していきます。
③	ウォーキング大会	・健康を増進し、交流を促進するため、地域を巡るウォーキングを行います。
④	みんなのラジオ体操会	・健康を増進し、交流を促進するため、ラジオ体操会を行います。
⑤	介護予防講習会	・介護を予防したり、介護者が知識・技術を習得したりするための講習会を行います。

(2) 施策の取組み期間、重要度、役割分担

施策名	いつまでに			重要性			役割分担 (施策主体)		
	短期	中期	長期	やや重要	重要	特に重要	地域	協働	行政
① 多世代の健康増進		○			○		○		
② 食育講習会	○				○		○		
③ ウォーキング大会	○				○		○		
④ みんなのラジオ体操会	○				○			○	
⑤ 介護予防講習会			○		○			○	

3) 産業振興分野

(1) 施策一覧

番号	施策名	施策概要
①	緑風田園本舗	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地を活用して、都市と農村の交流を進めていきます。 ・米作り応援隊などを組織し、ブランド米（緑風米）の栽培から販売まで協働して進めていきます。 ・地域食材、造り酒屋、縫製技術など梁瀬地域特有の資源を活かして、農業と商業・工業等との連携（農商工連携）により、梁瀬の特産品開発などを進めていきます。
②	休耕田活用策の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・農業委員会が調査した休耕田情報を把握し、その活用策を検討していきます。 ・地域の特徴的な資源の 1 つである酒造りに必要な酒米の生産を検討します。
③	家庭菜園教室	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地などを利用して、家庭菜園教室を実施し、季節に応じた野菜を栽培管理していきます。
④	まちなかの活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域独特のまち並みを活かした整備などを推進し、観光資源等と一体となった商店街の活性化施策を検討します。
⑤	農業後継者の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・担い手（専業農家・兼業農家・認定農業者・新規就労者）の育成・支援を図り、持続可能な営農環境を確保していきます。 ・機械利用組合の設立など集落営農組織を育成して営農の効率化、省力化を検討します。
⑥	新しい農産物の研究	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の現状に見合った、農作物の研究を行います。

(2) 施策の取組み期間、重要度、役割分担

施策名	いつまでに			重要性			役割分担 (施策主体)		
	短期	中期	長期	やや重要	重要	特に重要	地域	協働	行政
① 緑風田園本舗		○				○		○	
② 休耕田活用策の検討		○				○		○	
③ 家庭菜園教室	○			○			○		
④ まちなかの活性化			○			○		○	
⑤ 農業後継者の育成			○			○		○	
⑥ 新しい農産物の研究		○				○	○		

4) 地域交流分野

(1) 施策一覧

番号	施策名	施策概要
①	交流促進事業	<ul style="list-style-type: none"> 地域資源を活用した様々なイベントを企画し、地域内交流、地域間交流を深め、地域への愛着を深める取組みを行います。 道の駅「但馬のまほろば」を交流の拠点として位置づけ、周辺に点在するヒメハナ公園や茶すり山古墳などの歴史文化資源と連携することで、地域に人を呼び込む交流促進を図ります。 地域で行われている様々な支え合い活動においては、区や地域の領域を超えた相互間の連携強化により協働で進めていきます。
②	ふれあいスポレク祭	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ・レクリエーション等を通じて子どもからお年寄りまで世代を超えた地域内の交流を進めていきます。
③	やなせの春祭り	<ul style="list-style-type: none"> 地域内の交流や活性化を目的として、やなせの春祭りを開催します。
④	やなせ大運動会	<ul style="list-style-type: none"> 中高校生によるアナウンスなど若い力を活かした運動会の企画を検討します。 早食い競争、借物競争、組体操、伝言ゲーム、仮装行列、年代別リレーなど多様な人が参加できる種目を検討します。
⑤	地域の拠点施設等の活用	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅「但馬のまほろば」や山東生涯学習センター等において、地域の情報（観光マップ、地域映像など）を発信できる拠点として活用していきます。
⑥	ウツギノヒメハナバチ・ホタル鑑賞会の検討	<ul style="list-style-type: none"> 地域の資源であるウツギノヒメハナバチやホタルの群生地を通じて梁瀬地域の環境のすばらしさをPRしていきます。
⑦	歴史・文化の継承	<ul style="list-style-type: none"> 課外教室、出前講座の開催や地区文化祭などを開催し、梁瀬の歴史・文化を後生に伝えていきます。
⑧	梁瀬の観光マップづくり	<ul style="list-style-type: none"> 多世代の意見を聞きながら地域の資源を整理し、梁瀬の観光マップを作成します。

(2) 施策の取組み期間、重要度、役割分担

施策名	いつまでに			重要性			役割分担 (施策主体)		
	短期	中期	長期	やや重要	重要	特に重要	地域	協働	行政
① 交流促進事業	○				○			○	
② ふれあいスポレク祭		○			○		○		
③ やなせの春祭り	○				○		○		
④ やなせ大運動会			○	○			○		
⑤ 地域の拠点施設等の活用		○				○		○	
⑥ ウツギノヒメハナバチ・ホタル鑑賞会の検討		○		○			○		
⑦ 歴史・文化の継承	○					○		○	
⑧ 梁瀬の観光マップづくり		○				○		○	

第4章 まちづくりの推進に向けて

第4章 まちづくりの推進に向けて

1. 役割分担と地域協働

梁瀬地域のこれからのまちづくりを実践していくためには、地域住民、企業、関係機関、各種団体等が個々に取組んでいくものや相互に連携を図りながら取組んでいくものなど様々です。

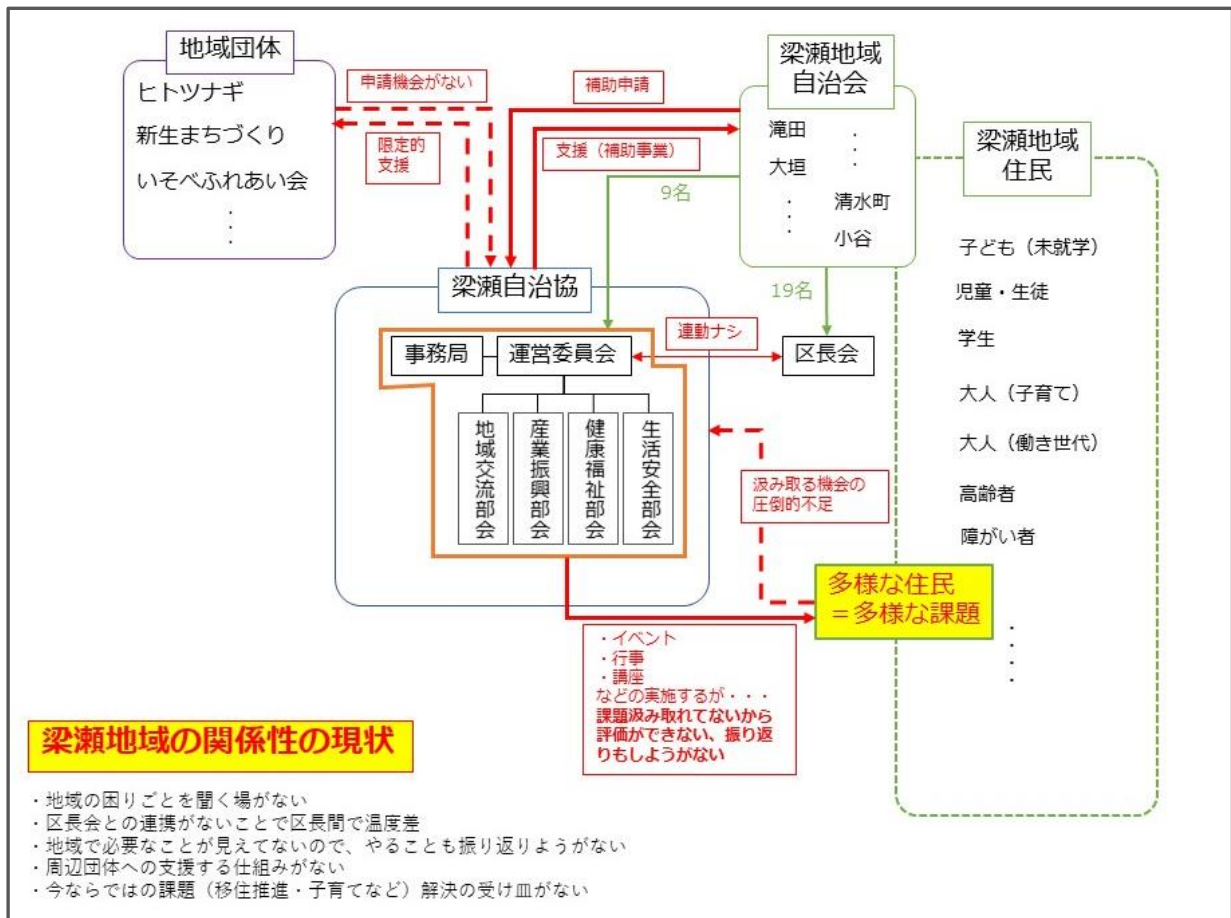
そのため、近所でのふだんからのつきあいを大切にし、地域の課題解決のため互いにまちづくりへの意識の共有を図りながら、協働のもとに快適で暮らしやすいまちを目指した取組みを進めます。

一方で、初版の梁瀬まちづくり計画を作成してから現在までで振り返りを行うと、協働という点において不十分な部分が多いという認識が関係者の中で見られた。梁瀬地域自治協議会が、梁瀬地域の自治を担うのであれば、地域の課題、困りごとを広く扱うことが本来の役割であり、そもそもそれらを拾い上げることが十分には行われていないことが明らかとなった。

そのような現実があることから、これまでに行われてきたイベント、行事なども地域の課題解決に繋がっているかわからず、その効果を実感できないでいると言える。

下に、まちづくり検討会を実施した際の内容にもとづいて梁瀬地域の現状を図式化したものを下に示す。

■ 梁瀬地域の関係性の現状

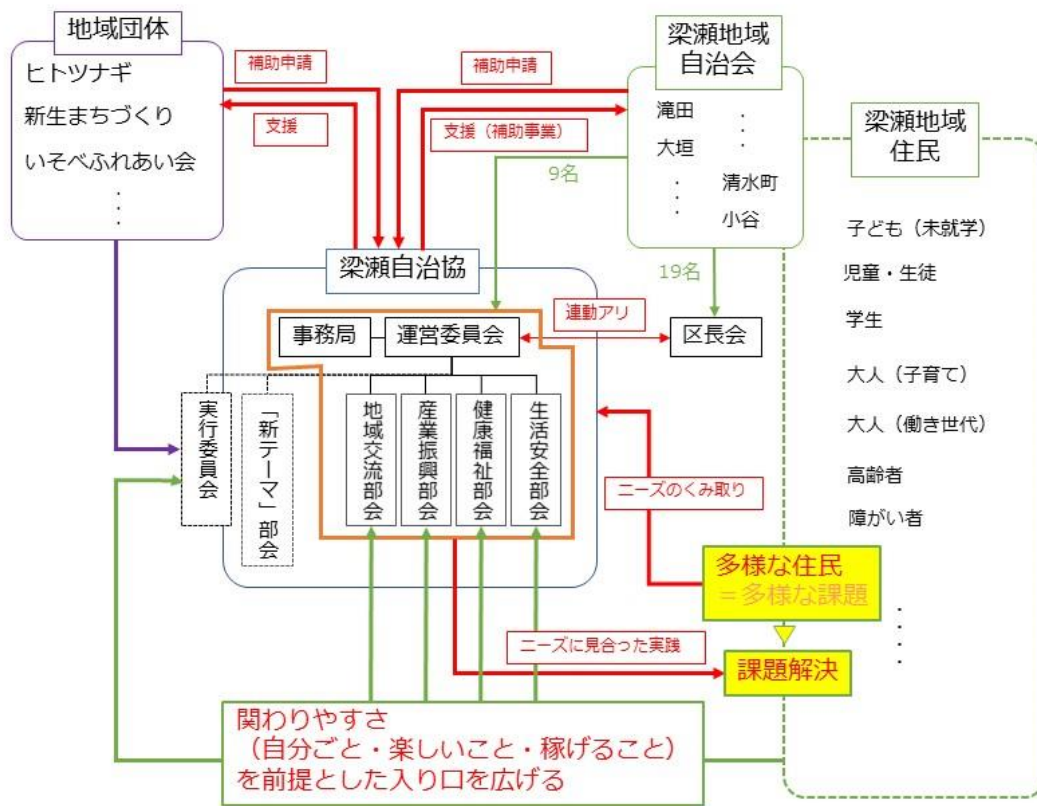


次に、梁瀬地域としての現況、課題などを踏まえた上で描いた関係性のあるべき姿を下に示す。ここで強調したいのは、関係各者との関係性を広げ、課題のくみ取りのみならず、関わりやすさのハードルも下げなければならないということであり、その結果、初版のまちづくり計画作成時には話題にもならなかった新しい課題に対応していくべきである、というものである。

今回のまちづくり計画の作成では間に合わなかったが、今後も検討を続けていくことで、新しいテーマの活動を行う、部会もしくは実行委員会の設立も必要になると考えられる。

いずれにせよ、これらに関しては今後も重要度の高い検討事項となる。

■ 梁瀬地域の関係性のあるべき姿



梁瀬地域関係性のあるべき姿

2. 計画の見直しについて

「梁瀬地域まちづくり計画」は、梁瀬地域を取り巻く状況の変化に適切に対応するために、3年ごとの見直し検討を行い、常に、時代の潮流や、地域状況の変化等に対応した計画づくりを目指します。

見直しの内容としては、取組みの施策である「第3章 これから進める主な施策」の見直し検討を行います。

また、人口や産業構造、行財政など社会経済情勢の大きな変化が見られた場合などには、

必要に応じて「第2章 梁瀬地域が目指す将来像」を見直します。

また、部会活動については、1年毎に振り返りを行い、地域の状況の変化に対応できるように活動内容を随時変更できるものとする。そのためには、振り返りのためのチェックリストまたは振り返りのためのフレームワークを用いるものとする。

参考資料 梁瀬地域まちづくり計画策定の経過

参考資料 梁瀬地域まちづくり計画策定の経過①

初版梁瀬地域まちづくり計画は、「梁瀬自治協ふるさと自立計画策定推進会議」を中心として、地域の現状や課題や地域課題の解決に向けた方策を検討し取りまとめました。

また、地域の多くの方の意見を計画に反映させるため、15歳以上の方全員を対象にアンケート調査を実施しました。

■計画策定の経過

開催日	会議名 等	会議内容 等
平成 21 年 9 月 10 日	「ふるさと自立計画推進モデル事業」の推進のための準備会議	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザーの支援について ・事業計画の概要について
平成 21 年 10 月 14 日	第 1 回梁瀬自治協ふるさと自立計画策定推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと自立計画推進モデル事業の概要 ・事業計画、予算案について ・先進地見学会について ・アンケート調査について
平成 21 年 11 月 29 日	ふるさと自立計画策定に向けた先進地見学会	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山県西粟倉村視察 ・岡山県真庭市勝山視察
平成 21 年 12 月 4 日	第 1 回コミュニティビジネス検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・特産商品開発の具体的な推進方法について
平成 21 年 12 月 21 日	第 2 回コミュニティビジネス検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・前回検討委員会のまとめとアンケート結果の報告 ・商品化に向けての対応について ・「ミニ産業フェア」への対応について
平成 22 年 1 月 12 日	第 2 回梁瀬自治協ふるさと自立計画策定推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・「ミニ産業フェア」の実施について ・まちづくり計画の策定に向けた「住民アンケート」の実施について ・ふるさと自立に向けた梁瀬自治協のあり方について
平成 22 年 1 月 15 日	第 3 回コミュニティビジネス検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・「ミニ産業フェア」で調理、販売するメニューの決定について
平成 22 年 1 月 24 日	ミニ産業フェア	<ul style="list-style-type: none"> ・「ミニ産業フェア」開催
平成 22 年 1 月 25 日 ～2 月 15 日	住民アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> ・15 歳以上の方全員を対象にアンケート調査を実施
平成 22 年 2 月 1 日	第 4 回コミュニティビジネス検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ産業フェアの反省と課題について ・コミュニティビジネスの今後の体制について ・梁瀬地域に人を呼び込む「交流促進事業」について
平成 22 年 2 月 19 日	第 3 回梁瀬自治協ふるさと自立計画策定推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティビジネスの方向性について ・梁瀬地域まちづくり計画の策定について ・梁瀬地域に人を呼び込む「交流促進事業」について

参考資料 梁瀬地域まちづくり計画策定の経過②

梁瀬地域まちづくり計画の改訂版の作成に至るまでの実施内容をまとめます。初版の作成の際とは大きくことなり、アンケートの実施を皮切りに、その集計解析結果を踏まえて対話の場を設けて内容を決定するという流れで実施しました。

■計画策定の経過

開催日	会議名 等	会議内容 等
平成30年6月28日	まちづくり計画実行委員会	・改訂版まちづくり計画作成に関する趣旨、スケジュール、アンケート実施方法についての検討
平成30年7月4日	梁瀬区長会	・改訂版まちづくり計画作成に関する趣旨、スケジュール、アンケート実施方法についての説明
平成30年8月7日	まちづくり計画実行委員会	・配布アンケート内容の検討
平成30年10月18日	まちづくり計画実行委員会	・アンケート実施結果の速報の報告
平成30年12月21日	まちづくり計画実行委員会	・アンケート集計結果の速報の報告 ・アンケート結果報告会の内容検討
平成31年1月13日	アンケート結果報告会&パネルディスカッション&意見交換会	・アンケート結果の解析結果の報告 ・地域内の団体を招いてのパネルディスカッション（健康福祉部会、ヒトツナギSANTO、山東新生まちづくりの会） ・5テーマに分かれての意見交換会
平成31年1月22日	第1回 まちづくり検討会	・初版まちづくり計画の内容を踏まえた振り返り。 ・初版まちづくり計画を改訂するにあたっての変更点の検討
平成31年1月29日	まちづくり計画実行委員会	・アンケート結果報告会実施に関する報告 ・第1回まちづくり検討会実施に関する報告
平成31年2月7日	第2回 まちづくり検討会	・現状の自治協組織に関する改善点の検討
平成31年2月14日	地域交流部会	・初版まちづくり計画の内容に基づいた活動振り返り ・改訂版まちづくり計画における施策一覧の検討
平成31年2月15日	生活安全部会	・初版まちづくり計画の内容に基づいた活動振り返り ・改訂版まちづくり計画における施策一覧の検討
平成31年2月16日	産業振興部会	・初版まちづくり計画の内容に基づいた活動振り返り ・改訂版まちづくり計画における施策一覧の検討

平成 31 年 3 月 5 日	健康福祉部会	<ul style="list-style-type: none"> • 初版まちづくり計画の内容に基づいた活動振り返り • 改訂版まちづくり計画における施策一覧の検討
平成 31 年 3 月 7 日	まちづくり計画実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> • 第 1 回まちづくり検討会実施に関する報告 • 4 部会の検討結果の報告
平成 31 年 3 月 27 日	まちづくり計画実行委員会	<ul style="list-style-type: none"> • 改訂版まちづくり計画の入稿内容の確認